

令和4年度

第15回邑南町議会意見交換会

報 告 書

邑南町議会

邑南町議会では、平成19年に議会基本条例を制定しました。その第4条第3項において「議会は、町民と意見交換の場を多様に設けなければならない」と規定しています。

これにもとづき、平成20年から毎年、町内各公民館で議会と町民との意見交換会を開催しています。今年度の開催状況と、近年の状況は下表のとおりです。

新型コロナウイルス感染症流行の終息がみえない中でしたが、みなさんのご協力により感染防止対策を図り、無事開催することができました。第15回を迎えた今回も町の施策や身近な地域の問題などについて活発に意見交換がなされました。いただいたご意見は、委員会での協議、担当課への調査及び一般質問など今後の議会および議員の活動に活かしていきます。

これからもできうる限りみなさんと「町の将来」「身近な地域の問題」などについてともに考え、話し合っていきたいと思っております。

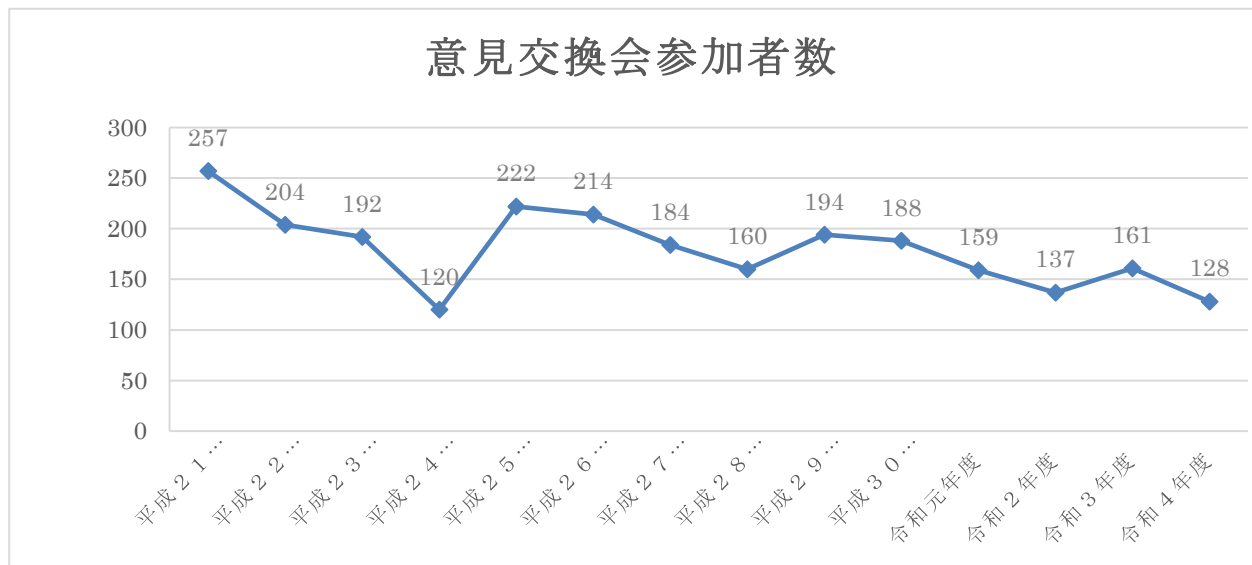
ご参加いただいたみなさん、ありがとうございました。

● 開催状況

第15回意見交換会出席者数

開催日	開催場所	出席者数
8月1日(月)	高原公民館	4人
	日和公民館	6人
	矢上公民館	12人
	市木公民館	10人
8月4日(木)	阿須那公民館	7人
	口羽公民館	12人
	出羽公民館	8人
	中野公民館	15人
8月9日(火)	布施公民館	15人
	日貴公民館	21人
	井原公民館	10人
	田所公民館	8人

● 近年の状況（意見交換会参加者数）



● 会場別目次

高原公民館		1 ページ
日和公民館		1 ページ
矢上公民館		3 ページ
市木公民館		4 ページ
阿須那公民館	...	5 ページ
口羽公民館		5 ページ
出羽公民館		6 ページ
中野公民館		6 ページ
布施公民館		7 ページ
日貴公民館		8 ページ
井原公民館		8 ページ
田所公民館		9 ページ

高原公民館まとめ

●脱炭素先行地域について

- ・脱炭素先行地域の指定を受けて行う事業では、どのようなことを行うのか。
- ・脱炭素先行地域の対象は矢上、中野、田所だが、対象地域外の農地における太陽光発電パネルの設置等をする場合に農地転用は必要か。
- ・農地とソーラー発電の併用も必要ではないか。

●議員は各地域の地区別戦略にどのように関与しているのか。

●J Aしまねが和牛肥育事業撤退方針を決めたが、この事業は石見和牛ブランド、A級グルメやふるさと納税返礼品で積極的に活用されている。今後、町は和牛農家支援、矢上高校産業支援等を含めどのように対応するのか。

●空き家の活用をもっと積極的に進めるべきではないか。

●新型コロナウイルス感染症の拡大に伴う支援では、飲食店関係の業種が優遇されているように思えるが、他の業種に対する支援等はどのようになっているか。

●石見中学校改築となっているが、新校舎を建設するのだから新築ではないか。

●瑞穂中学校、羽須美中学校の校舎等の整備計画があるか。

●公立邑智病院の本館建替事業における建設費用の増額補正については、補正内容の審議に課題があるのではないか。

●交通手段の整備では乗り合いバスの希望もあるので、適切な対策を進めてほしい。

日和公民館まとめ

●霧の湯について

- ・完全に休業するとお客さんがつかなくなるので、コロナ禍の間は規模を縮小してでも営業してもらいたい。
- ・休業状態のままにしておくと宝の持ち腐れのようなので、町から支援金を出してでも営業することを望む。
- ・コロナ禍により儲からなくなっていることは理解できるが、一般企業に指定管理を頼んだことが休業の原因ではないか。
- ・今の財政状況では町からお金は出せないのではないか。
- ・コロナが収まればまた元の状態に戻るという見込みはないのか。
- ・指定管理者が代わってから行っていない。以前は、夕方汗を流しに風呂に入り食事をして帰宅していたが、新しくなり身近に感じなくなった。レストランの形態も変わり行きにくくなった。
- ・町民が利用しなくなったのではないか。
- ・新しい体制になり行っていない。お風呂が故障した際に行こうと思ったが休業していたためいいの村に行った。以前は霧の湯もレストラン（いろいろ）も利用していた。コロナの影響でいかなかったのも事実である。
- ・温泉だけが目当ての客は少ないと思う。以前は温泉に入り集落の忘年会を行っていた。そのような形での営業をした方がよいのではないか。

・指定管理者が町外なので親近感がない。コロナの影響もあるが行ってみようという気にならない。

・町民の声とすれば、継続してほしい。せっきくの施設なので動かしてほしい。霧の湯がつぶれたらあの周辺にも影響がある。霧の湯の活かし方を考え活性化につながる支援を望む。

・一つの業者でまとめて経営してもらい、全体でプラスになればいいのではないか。

・町が支援したとしても一時的には良いかもしれないが、活性化につながる支援ならいいと思う。

・飲食ができるようになれば人は戻ってくると思う。集客に向けて企業の努力も必要である。企業が努力していないのに地域の人も何をしていいのかわからない。

・いこいの村と霧の湯を比べた場合、いこいの村だけを何とかしたいのではないかという気がする。

・霧の湯周辺の開発が進んでいるようだが、長い目で見たら霧の湯を手放すよりは温存しておいて、今は時期が時期だけにコロナ禍の中での集客は難しい。現在の状況に耐えて、周辺の開発が進むと霧の湯の状況も変わるのではないか。

・新しい会社も邑南町のために努力されたことはある程度評価できるので、今後継続していただけるよう、また継続するためにはどうすればいいのか助言や支援をしてあげていただきたい。

●有害鳥獣について

・減るのではなく増える一方だという気がする。町は対策を考えているのか。

・耕作している田んぼではなく、荒れ地にイノシシが入っている。耕作放棄が増えており、有害鳥獣対策として草刈り等の最低限の管理をすることも難しくなっている。

・対策として柵や電柵で囲っても後の管理が難しい。

・有害鳥獣が出没した場合の情報を共有管理する組織があればよい。組織に対し賃金の支払いができるくらいの国の補助金制度があればよい。

・日桜ロードに猿が出没している。

●日和トンネルについて

・矢上から日和に向かうトンネルの入り口、雨が降った時に上からすごい量の水が歩道側に落ちる。大雨の時の落石が心配であり柵の設置が必要ではないか。町政座談会でも意見が出たことがあると思うが、現場を確認してほしい。

・水だけならいいが、何年かすれば斜面が掘られ落石することも考えられる。柵が必要ではないか。

・直接車道に水が落ちることはないが、歩道にどんどん落ちてくるので心配である。

●農業について

・高齢化による農業の担い手確保が難しい。

・3年くらい前の話では、農地を預けたい人は多いが、引き受ける人が少ないと聞いている。邑南町の農地は預ける人と受ける人の実態はどのようなになっているのか。

・少子高齢化が進み集落の営農のこれから先が不安である。

・高齢になると機械を使うことが難しくなる。

・あと10年でどれだけ働ける人がいるのか。

・儲けになれば勧められるが手出ししてまでは若い人に勧められない。

・中山間地の補助金がなければ赤字である。

・定年年齢が伸び定年後退職後に田舎に帰って農業しようとは思わないのではないか。田舎に帰ろうという気にもならないのではないか。急に農業やれと言われてもできないのではないか。

・このような現状が地域のリーダー的な人がいなくなる、という元でもある。

●ブドウについて

・ブドウのハウスがあちこちにできているが、育成、方向性について知りたい。

・販路はすでに持っているのか。

・ハウスを建ててから収穫までの生活はどのようなになっているのか。

・規模について一人でできる範囲なのか。

・神紅については地元の方が中心となってやっているのか。地域おこし協力隊の事業なのか。

●大型建設事業

・石見中学校、邑智病院、道の駅について資材高騰による設計の見直し話を聞いたが状況はどのようなになっているのか。

・高騰により予算が増えた場合は国や県からの補助があるのか。

・大型事業の予算について町政座談会で説明があったが分かりにくい。

●日本一の子育て村構想について

・邑南町の場合他の町村と比べ、出生率の効果は出ているのか。

・無線放送で赤ちゃん誕生のお知らせを聞かなくなったが今でもお知らせをしているのか。

・ほかの町村との差がなくなったように思う。

●邑智病院について

・来られる先生は医大からの先生が多いのか。

・一人の患者さんに対し、先生によっては西部医療センターへ紹介する場合と医大へ紹介する場合があり一か所にならないか。

矢上公民館まとめ

●7月26日現在邑南町HPに「議会だより3月号」が掲載されていなかった。議会事務局に連絡した。なぜそうだったかは分からなかった。

●いわみ温泉霧の湯の再開見通しはどうか。集客できる見通しができれば再開というが、見通しはたつのか。なくなるのか。霧の湯を残して一日も早く再開してほしい。町民に協力できることはないのか。

●いこいの村の宿泊料素泊まり1泊7,000円は高すぎる。どうしてこの額なのか。

●JAの肥育センター事業の撤退について、邑智郡町村会で申し入れをされているが石見和牛存続にもかかわることであり町としての対応はできないものか。

●本年1月に香木の森公園で遊具の事故後、町内すべての遊具の点検が行われた。すでに半年以上も経過しているのに撤去すべき遊具がそのまま放置されていたり、小学校の遊具がテープで固定され使用できなくなっている。一日も早く対応すべきである。観光にも影響する。議員も言うだけでなく進捗状況を確認すべきではないか。

●東屋そばの収穫量が減少している。東屋集落で行うのが本来と。存続のための手立てはしているのか。

●矢上小学校児童の通学路に（本町山本商店の前）「頭上注意」の看板があり下校時は左側通行をしている。家屋の老朽化が原因か。対策は取らないのか。また道幅が狭いため朝夕の通学時間帯の大型トラックの通行を禁止してほしい。

●土曜日に体調が悪くなり、診療時間内に矢上診療所を受診した。予約の有無を問われ対応の仕方に納得いかずそのまま邑智病院を受診した。4月の異動で職員が変わったことで対応が違うのか。また診療所入り口のスロープにあるフェンスが短い。段差があり脱輪する危険がある。

●県道はきれいに草刈りがされている。町道は道路に草がはみ出しているも草刈りがされていない。住民が独自でやるのか人手がない場合には町に言えばいいのか、取り決めがあると対応しやすい。

●女性サークル「邑南ペンギンプロジェクト」の紹介。それぞれの地域で活躍されている方々がつながり、研修や会合を持ち女性であるからこそできることがあるのではないかと模索している。

●邑智病院のあり方。邑智病院に受診したが病名が不明で4年間で数か所の病院を受診した。今年7月に確定診断され現在治療中である。地域包括の対応はどうだったのか。

市木公民館まとめ

●小学校の児童が減少している。これに対する議会での対応は。

子どもの企画した「市木市」を今年も開催する。地域を挙げて子育てに取り組みたい。

●新型コロナウイルス感染症の濃厚接触者の検査は有償だが、補償はできないか。

- ・検査体制の検証、紹介が欲しい。
- ・感染が終息しない。保健所との連絡もままならない。
- ・感染拡大と経済活動の両立は困難では。行動制限が必要では。
- ・判断が難しい。
- ・イベントの開催動向は。

●公民館のあり方

- ・特に周辺部では公民館である程度の行政サービスが受けられるようにして欲しい。
- ・社会教育だけでなく、自治会活動の拠点としても利用したい。
- ・所管を生涯学習課から総務課あたりに変更してはどうか。
- ・公民館主事の立場を、地域の活動の手伝いと両立できるようにできないか。
- ・地域の実情に応じて、必要であり可能であるところから実施できないか。
- ・公民館の歴史として、合併前の瑞穂では地域づくりは公民館で行っていた。公民館活動推進協議会で行っていた。合併後、自治会や地区社協が設置され主体が移行した。公民館推進協議会が機能していない。
- ・人口は減少するのに組織は増えて、役員を探すのに四苦八苦している。
- ・組織の見直しが必要。
- ・現在の公民館の体制では、人的にも予算的にも困難。地域に合った新たな仕組みを考える必要がある。

●公営住宅のあり方

- ・所得制限により入居できずに地区外に出る者が多い。
- ・公営住宅を建てるより、民間賃貸住宅建設や入居者への補助を考えるべきだ。

- 空き家バンクが機能していないのではないか。紹介物件を増やすことはできないか。
- Uターン、孫ターンの奨励を。
- 瑞穂インターの駐車場の整備を望む。進入路が分かりにくい。駐車場が狭い。
- 町内の観光資源を結ぶ観光ルートの開発と紹介を。

阿須那公民館まとめ

- 元職員の他団体での金銭不正流用について。平成19年にも職員の不正があった。構造的に問題があるのではないか。少人数の職場では業務を全体でカバーする必要がある。特に公民館では職員がいきいきと仕事ができるように。
- 公民館の審議委員・審議会は何をすところなのか。コロナで3年間召集はなかった。全員で12人の審議委員。どういう問題の時に召集されるのか。条例により公民館には主事の配置が決められているが、新聞報道があるまで不在の理由が分からずもやもやしていた。早く主事の配置をしてほしい。
- 邑南高宮線、大所から上流に向けて民家はなく、落石の危険があり数年通行止めになっている。予算措置もなく民家がないためか放置されているのではないか。戸河内、阿須那地区の住民の利用もあるため工事を進めてほしい。
- ゼロカーボンシティの取り組みについて。取り組みには賛成である。しかし太陽光発電の設置だけに偏っていないか。木質バイオマスや小水力発電はどうなのか。民家の屋根や広い土地に大型のパネルが設置されることで邑南町の景観は損なわれる。田園風景や街並みが壊される気がする。ゼロカーボンを目指すことは必要だが、このことについての議論が置き去りにされているのではないか。説明会では金銭的なことの説明ばかりである。災害時の影響や将来の廃棄の問題も課題としてある。
- 地域の消火栓の管理について。消火栓を使用する場合は水道課に連絡しないといけないことや、立ち合いが必要とも聞いている。取り扱いの確認が必要。消防車が来るまでの対応は消防団がするため、迅速な対応が取れないのではないか。ホースは長年使用していないと折れ目が朽ちてくる。その管理や交換費用はどうなるのか。集落が管理するにも点検マニュアルもない。
- 集落のあり方。過疎や高齢化で集落に1～2世帯しかない集落が増えている。隣集落と合併することにも弊害がある。行政協力員の手当の問題など（均等割り・戸数割）地域任せではなく、行政協力員なので行政が主導すべきではないか。地域の活動には地区別戦略、夢づくりプラン推進、小さな拠点づくりなどいろいろな活動があるが顔ぶれはあまり変わらない。役場内には企画調整会議があり委員会も様々ある。職員内では提案制度もある。様々な活動や会議を整理すると少ない人数で職員を中心に事が運びやすいのではないか。

口羽公民館まとめ

- 道路関係
 - ・浜田作木線高見工区はいつ完成するのか。早く完成してほしい。
 - ・高見橋の片側交互通行の信号が長すぎる。
 - ・口羽リゾートと両国橋間の道路はいつ始まりいつ完成するのか。

- デマンド交通について
 - ・補助金がなくなっても運用できるのか。
 - ・利用できる範囲が狭すぎる。同じ町内なのに瑞穂や石見に行けないのはおかしい。
- 補助金事業
 - ・補助金について、補助金がなくなっても続けていけるようによく考えてやるべき。
 - ・いつも同じコンサルが入って企画しているが、かなりの財源をもっていく。職員の企画力がなさすぎるのではないか。
- 月の配布物が多すぎて行政協力員をみんな嫌がる。郵送にできないか。
- 有害鳥獣
 - ・アライグマが急激に増えている。人にうつる病気ももっているのではなんとかしなくては。
 - ・空き家の屋根裏などに棲んでいる。目撃情報が欲しい。
- その他
 - ・ゴミカレンダーを復活させてほしい。
 - ・あさぎり前のソーラーライトが切れている。どうにかしてほしい。

出羽公民館まとめ

- 久喜銀山遺跡の国指定後、地域の宝として現場をどうするのか
 - ・現場でのトイレ、駐車場等の整備の要望。
 - ・正式名称に「岩屋・大林間歩群」を加えてほしい。
 - ・林間学舎を今後どのようにしていくのか（交流拠点・銀山資料の展示）
 - ・保存活用計画策定委員会を早期に開催してほしい。
 - ・第2の故郷プロジェクト関連の意見。
- 道の駅再整備に関する意見
 - ・産直市だけでなく久喜銀山や郷土館などの情報発信や観光情報発信のような本来の道の駅の機能の充実が求められる。
 - ・道の駅への入出路の安全性について（通学路・混雑時）
 - ・スクールバスの名称を「志都・岩屋経由 久喜銀山号」としては。
- A級グルメの基準作りに関する意見。
- 学校の統合に関して話し合う時期ではないか。
- 留守宅の保守、空き家対策への助成について。
- 耕作放棄地増加に対する対策は。
- マイナンバーカードを普及させる方策。

中野公民館まとめ

- 邑南バスに人が乗っていない。何台バスがあり何人運転手がいるのか。
- 議会意見交換会の質問、回答等、各自治会、参加者へ説明報告してほしい。
- 道の駅瑞穂について
 - ・規模が大きすぎる。

- ・情報を地域に出て発信してほしい。まだまだ情報発信が足りない。
- ・道の駅瑞穂は、30年後に人が減る中経営はできるのか。
- ・道の駅瑞穂の名称はどうか。
- 町政座談会について課長も全員出席してほしい。
- ふるさと納税の管轄はなぜビレッジプライドになっているのか。
- 断魚溪について
 - ・いわみ荘はどうするのか。
 - ・ゲストハウスはどうするのか。
 - ・断魚溪はロープだらけで観光地として整備しないのか。
 - ・看板はまだ石見町と書いてあるがいつ直すのか。
- 矢上高校寮についての意見
 - ・夜あんまり食べるなどと言われる。
 - ・配膳のミニトマトを半分に切れと怒られた。
 - ・食事の時間が長いと注意された。改善を求める。
- 中学校部活動についてどうなっているのか。途切れることのないよう継続を求める。
- 安倍総理の国葬について何か聞いているか。どう思うか。

布施公民館まとめ

- 農地の災害復旧について
 - ・工法がおかしい。オニ真砂で直してもすぐまた雨で流れる。そもそも県の基準がおかしいのではないか。
 - ・被害届を出したが年度内無理と言われたので次年度かと思っていたが毎年更新だと言われた。そうなのか。
- 地域コミュニティについて。あり方検討委員会の議事録を見たら「人から機能へ」という表現がありそれぞれの集落や地域、住民感情に沿ったことができなくなるのではないか。
- おおなんきらリエネルギーについて。JAしまねの水力発電で年間一千万くらい入るが、町の財源は見込めるか。
- 道路関係
 - ・浜田作木線高原工区はいつ完成するか。
 - ・仁摩邑南線萩原工区も早く完成させてほしい。
- 森林活用
 - ・86%が森林なのだからどんどん使うべき。邑南町唯一の資源だ。
 - ・道路や家屋にかぶさってくる木も有効活用してほしい。
- 地区別戦略について。辰田議員が一般質問で言った予算内の余剰分を各地区で配分するという提案に賛成する。
- 地域交通検討委員だが、3月議会で問題になった羽須美のスクールバスの件について、書面決議が続いていて実際どうなのかよく分からない。ちゃんと会議で意見交換がなされるべき。
- その他
 - ・高原小のプールが使えなくて瑞穂小でなくどうして口羽小まで行くのか。

- ・今後学校の授業としてプールをどう考えているのか。

日貫公民館まとめ

- 公民館職員の不祥事があり、役場の職員が地域に入って共に活動することができにくくなるのではないかと。地元としては若い役場職員と一緒にできるよう期待をしている。どのように連携すればよいか考えはあるのか。
- 事務局と会計を分けるよう理事会で検討している。複数で担当することで職員や会計担当を守ることにも繋がる。
- 田代集落2軒しかない。町道の草刈りが大変。町からの補助があるところもあるが人手がない。町全体の問題であり今後どうすればよいのか。
- 耕作放棄地をなくすために米作りをやりようと思っても畦畔の草刈りが大変。高齢化しておりボランティアではできない。
- 町営住宅の利用者は家の周りの草刈りをしないとイケないが刈らない人もいる。入居時に草刈りのことも説明しているのか不明。
- 青笹班道路の除草について。6戸7名の住人。活動できる人は3名。草刈りのために広島や浜田から帰省して手伝ってもらおうという現状。
- 邑南町のヤングケアラーの実態はどうか。
- 水稻の水不足について（福原集落）昨年も水がなかった。長年の気候変動によるものではないか。（昔はいこいの村でスキーができた）。
- 議員の一般質問の日時を放送してほしい。
- 日貫と口羽はよく頑張っているといわれる。中心部は人口も自然に増える。均衡のとれた人口対策を。周辺がさびれると中心部もさびれてくる。担い手づくりがインフラ対策になる。行政・議会もそれぞれ頑張してほしい。
- 移住希望者には行政・地域がそれぞれの役割で一緒に取り組んでいる。
- 高齢になっても若い考え方をしている人が多い。高齢者には勇気を与える話を期待している。
- どんな小さなことでも町議に相談してみるといい情報が得られる。
- 自治会の存続はいつまでできるのか。自治協議会が設立されている。5つの自治会があるが人口はかなり減少している。

井原公民館まとめ

- 脱炭素先行地域はなぜ中野、矢上、田所で井原は外れているのか。
- 井原公民館について、できるだけ早く着手してほしい。検討委員会を早く起こしてほしい。
- 自治会の統合を応援してほしい。
- 皆井田の林道の着工を早期に。
- 道の駅瑞穂をしっかりとチェックして欲しい。面積に対する費用対効果など。
- 雲井の里について
 - ・雲井の里は2年連続赤字で厳しい段階にある。設備の投資もしたいができない。
 - ・道の駅瑞穂だけでなく、雲井の里にも町財政を投入してほしい。

・雲井の里は町民が出資して作ったものである。大事に考えてほしい。

●矢上高校について

- ・定員に達しているのは町外、県外が中心であり今後20～30年後の存続が不安。
- ・矢上高校存続のため、私立にすべきではないか。
- ・大学の付属にするべきでは。例えば長期的な考えで農学部など。
- ・矢上高校を高大連携で行うべき。

●石見和牛について

- ・A級グルメのメインの石見和牛がなくなっていいのか。
- ・A級グルメによってどれだけの影響があったか。
- ・A級グルメの総括を。どれだけ町民が潤ったのか。
- ・検討する時期にきているのではないか。

田所公民館まとめ

●おおなんCATVのアンケート調査があった。IP電話はなくなるのか。ネット回線の速度が遅い。

●石見和牛がなくなる。A級グルメとしてどれだけ宣伝広告として町がお金をかけてきたのか。また、A級グルメのメインがなくなっても、A級グルメを続けるのか。

●観光において、ゴルフ場はなくなり、スキー場は再開したが規模を縮小している。地元の人が楽しむ場所がない。霧の湯を早く再開してほしい。

●霧の湯は今まで、営業努力によって成り立ってきている。企業の努力も必要ではないか。

●霧の湯は温泉だけの再開ではなく、今まで通り食事をしたり宴会をしたりできる施設であってほしい。指定管理を受けた会社に対して町や議会はどの程度要望や意見を言えるのか。

●道の駅の将来の収支は。

●道の駅は12地区をつなぐとの構想であるが、福祉バスはなくなるなど地域交通はどのようになるのか。道の駅は地域交通の拠点か。

●自治体新電力はどうなっているのか。いつから電気の供給がはじまるのか。今日の情勢で大丈夫か。

●自治体新電力会社の出資者はどのようにして決まったのか。出資は増やせるのか。新たに出資者になることはできるのか。

●空き家が増えている。地域の力だけで解消するのは難しい。

●石見中学校が改築する。瑞穂小学校、瑞穂中学校の改築の予定は。

●こども条例はどうなったのか。

●地域農業（特に水田）の問題は深刻である。議会も真剣に取り組んでほしい。